

「神の御心とは？あなたと共にいること」

～ 成果達成 VS 成就 ～

I テモテ 6 : 17 ~ 21

■ 相手に心を伝える

こんにちはの「は」は「わ」ではないのはなぜでしょうか？もともと、「今日は（こんにちは）、よいお天気ですね。」というように後に続きがあります。出会った人に話しかけていたもの後半が略されてしまいました。

「然様（さよう）ならば（＝そうゆうことならば）お別れいたしましょうか。」が略されて、さようならになりました。面倒くさいと何でも略してしまうようになったことで、そんな人間の思いが、今のコロナの時代にマスクを取って笑顔を見せることさえできなくなるほどに変わってしまいました。

神様が人間にえくぼを作ったのは相手に敵対心ではなく友好的だという印象を抱かせるためでもあったようです。私たちは心を伝えるということを知り、その大切さを理解しています。ですから、マスクをしていたとしても私たちのコミュニケーションによって相手に良いものは伝わっていくはずなのです。

テモテが愛する弟子たちに対して手紙を出したのは、彼らがイエス・キリストに留まるように伝えるためでした。

この世で富んでいる人とは、例えば冷蔵庫の中に有り余るほどの食料を持ち、平気で廃棄していく、そのようなことをしながらも自分たちが正しいと思ってしまう私たち日本人かもしれません。

私たちの多くは、自分にとっての不足に目が行き、持っていないと思ってしまう。しかし、神様はそれぞれに任されているもの、必要なものを私たちに与えられます。聖書のII テモテでは分を超えて思い上がってはならないと言っています。私たちは、本当は持っており、任されているのだと知ることがとても大切なのです。

そして、あなたの志を神様に祈っていく中で神様の御心ならば必要なものは必ず与えられるのです。（I テモテ 6:17）

■ 神様の御心＝私たちが神と共にいること

神様の御心とは何でしょうか？私たちが何かを成し遂げることではありません。

映画「アメージングジャーニー」の主人公は娘を奪った凶悪犯を憎みました。また神に対しても同じでした。「なぜ、神がいるなら娘を守ってくれなかったのか」と。神様は憎しみや怒りをぶつけてくる彼と向き合い、ある時、湖に出かけます。向こう岸に一人で向かう彼の船が揺れ始め亀裂が入り船は浸水していきます。その瞬間、彼の中にある暗い闇のシーンを思い出し、恐れ惑う彼に神様は「私を見なさい！」と力強く語りかけます。やっとの思いで神様に目を向けた時に船は元に戻ります。湖の真ん中で、「湖を降りてこっちに来なさい」という主の言葉に何度も戸迷いながらも神様と共に進むと決断した彼は無事に向こう岸にたどり着くことができたのです。再び帰る時に神様がしてくれたように今度は自分の力で水上を歩けると思った彼は、湖に足を踏み入れますが歩くことができません。そこで神はこう言います。「私と一緒に上手くいく。」

神様は人間を何のために造られたのでしょうか？神様の栄光を現すためでしょうか？

アダムとイブと一緒にいるためだったのです。しかし人間は栄光を現すことすなわち結果を目的にしています。それは成果達成主義にすぎません。目的と結果が逆になっていないでしょうか？自分がしたいことのために神を使って結果を重視し、立派なことをしても、神の冠にはなりません。あの人にあれほどしてあげたのになぜ感謝されないのか、なぜ理解してくれないのか、もしあなたが結果を求めているのであればその結果が得ら

れることはありません。プロセスが間違っているからです。与えられているものが自分のものだと思っているなら、いずれ負担になってしまいます。人の益（その人にとって大きな実を結ぶ）を計り、良い行いに富み、惜しまずに施し（あなたが与えてもらったものから分け与えること）、喜んで分け与えるようにと聖書は語られています。（I テモテ 6 : 18）

■ 良い基礎とは心の備え

私たちの土台は大丈夫でしょうか？良い基礎になっているでしょうか？砂の上に建てられた家は大雨になり洪水が起きるとひどい倒れ方をして崩れてなくなってしまいますが、岩の上に建てられた家は大雨になり洪水が起きても崩れたりしません。これは聖書に書かれてある私たちの信仰の姿勢です。人生で嫌なことが起きた時に神の御心を聴き感謝できるでしょうか。良い基礎とは物理的な備えではなく、備えられた心であり、神様の御心（どんな時も私たちが神様と一緒に）に居続けようとする事なのです。（I テモテ 6:19）

■ ゆだねられたものを守る

神様と共にいれば私たちが何もしなくても成し遂げられるのでしょうか？そうではありません。私たちは神様からゆだねられたものを守り、神の摂理によって成就されること（成し遂げられること）を求めていきたいのです。御心は神様の力だけでは成されません。神様は計画を遅らせてでもご自分の心と一つになる人を見つけ、それに従おうとする者に御力を現し、共に実を残されるのです。そのために神様は待つことができる方なのです。神様は成就させることが目的ではなく、あなたと共に成し遂げたいのです。だからこそ、あなたが必要なのです。（I テモテ 6:20）

イエス・キリストがあなたの土台になり、神様と一体となるなら、あなたの決断は正しくその目的がずれることはありません。私たちの目的はイエス様と一緒にいることなのです。

神の御心とは、あなたと共にいることです。ですから、神様からの御言葉（ロゴス）を無駄にははいけません。御言葉（ロゴス）と、今あなたが神様と共にいて感じる（レイマ）が一つになる時、すなわち神とあなたが一つになると奇跡が起こるのです。

■ 走れないホームランバッター

キャロルシーラーはソフトボールが大好きな無名の女子高生でした。突然の交通事故により膝下を切断し義足になった彼女は、スポーツをすることができない体になりました。ところがそれでも彼女はバッターボックスに立とうとします。「そんな足で・・・」そう言う父親に彼女はこう言いました。「ホームランを打てば走れなくても大丈夫なの。私にはイエス様がいるから、きっと私はホームランが打てる。」その言葉のとおりになりました。義足の彼女の代わりに代走者が与えられ、彼女は走れないホームランバッターとして有名になったのです。神様と共にいる者にだけ与えられる奇跡があります。あなたに与えられているものは偉大なのです。足がなければ走れないように見える人生ですが、足は代わりに与えられました。神様が一緒にいれば、道のないところに道ができます。神様は、あなたと共にいたいのです。ですから私たちは神様から離れないともう一度決断していきたいのです。

（要約者：西崎 真由美）

（2022年 5月 29日）